

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

地域重点プロジェクト

[食関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

地域特性を活かした産業振興

■連携地域の主な施策の方向

- 基幹産業である農林水産業における生産基盤の強化と安定供給、より効率的で高品質な生産の推進
- 地域産業における多様な担い手と人材が活躍できる環境づくり
- 地域の特色ある農林水産物のブランド力の強化や6次産業化など産業間連携の展開、国内外への販路拡大
- 産学官金の連携による産業の創出・育成
- 地域資源を活かした企業立地の促進
- ロシア極東との経済・文化交流の推進
- 建設産業の経営力強化などの促進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	上川の農産物供給力向上プロジェクト 上川地域は水稲や野菜類を主体に多様な作物が栽培され、全国的に流通しています。しかし、上川地域の農業経営は、ほ場の区画が比較的小さいことや泥炭地に代表される排水不良、水利施設の老朽化により生産	○ 農産物の生産性向上 ・GPS 自動走行システム等、ICT 技術を活用した大型農作業機械の導入するスマート農業を推進することにより、生産コストの低減、高品質生産、担い手への農地の利用集積を促進します。 ・土壌改良と排水不良を改善し、農地の有効活用のための汎用化、土地生産性の向上、農業生産額の拡大を図ります。	国、道	(国 R2までに完了) ○農業 ・国営総合農地防災事業(空知川地区)(H28完了) ・国営総合農地防災事業(とうま地区)(H29完了) ・国営造成土地改良施設整備事業(山部(二期)地区)(R1完了) ・国営かんがい排水事業(ふらの地区)(R2完了) ・国営農地再編整備事業(富良野盆地地区)(R2完了) ○道路

<p>性が低く、更に担い手不足問題などにより安定的なものとはなっていません。このことから、ほ場の大区画化と併せ農地利用集積や水利施設のストックマネジメント、イノベーションの活用等によって農業経営の安定化と生産性の向上を図り、米や野菜等食料供給力の向上、産地加工を推進し、持続可能な力強い農業の実現を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹的な農業水利施設の戦略的な保全管理を進め、施設の長寿命化やライフサイクルコスト低減を図ります。 ・ほ場の大区画化や水路のパイプライン化、地下水位制御システム等の技術を導入し、作業効率の向上や水管理の省力化を通じて、維持管理労力の低減につなげます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・旭川十勝道路（富良野道路）の開通（H30完了）（国 R 3 施行）
<ul style="list-style-type: none"> ■ 推進エリア 道北連携地域（上川） ■ 関連する振興局主体プロジェクト ○ 上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト ○ 上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農産物・食品輸送の効率化推進 ・スピーディーな物流を実現させ、農産物の産地加工を促進する高速交通ネットワーク整備の推進 ・安全・確実に農産物を供給するための道路整備の推進 ・物流システム構築に向けた取組の推進（名寄周辺モデル地域） 	<p>国、道、市町村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業 ・国営かんがい排水事業（当麻永山用水地区、共栄近文二期地区、幌加内地区）の推進 ・国営農地再編整備事業（上士別地区）の推進 ・国営施設機能保全事業（風連地区）の推進 ・国営緊急農地再編整備事業（北野地区、愛別地区、大雪東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪東川第二地区、旭東地区）の推進 ・国営施設応急対策事業（てしおがわ剣和地区、鳥沼宇文地区）の推進 ○ 道路 ・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進 ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進 ・国道40号音威子府バイパスの推進（R7全線開通予定） ・「道の駅」を活用した物流効率化の取組の推進（市町村等） ・旭川地域産業活性化基本計画 ・地元農産物の消費拡大、食育・地産地消推進 ・経営改善支援の強化等による農業後継者育成確保 ・物流機能を高めるアクセス道路の整備 ・第2次名寄市農業・農村振興計画

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	<p>留萌・宗谷の農業・水産供給力向上プロジェクト</p> <p>（人口減少による後継者や担い手不足が一層顕在化する中、我が国の食料安全保障及び地域の主要産業である農林水産業や食関連産業を営む「生産空間」の維持発展に向けて、広大な土地を活かした農業と多種多様で恵まれた水産資源を活かし、さらにロボット、AI、IoT等の活用によるイノベーションを加速させ、良好な営農条件を備えた農地</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業用水の確保、水産資源生産力の向上、ポストコロナを見据えた産業振興を促進する物流ネットワークの強化等を図ることにより、高品質で安全・安心な食料供給力の強化を目指します。 <p>■推進エリア 道北連携地域（留萌・宗谷）</p>	<p>○ 農産物の安定供給の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 泥炭土に起因する地盤沈下の進行による湛水被害の解消等により、安全・安心な牛乳や畜産物の安定供給に向け、省力化や低コスト化を図ります。 農地の大区画化及び排水不良等の解消により、良好な営農条件を備えた農地の確保と農作業効率の向上を目指すとともに、農地の集積集団化や営農の組織化、先端技術を活用したスマート農業の導入により、地域ぐるみで収益性を向上させる取組を促進します。 老朽化が進行する農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るため、農業水利施設の戦略的な保全管理を推進します。 集中豪雨の増加や大規模災害の発生等、災害リスクの高まりに対応するため、農業水利施設の耐震化や「流域治水」の考え方に基づき事前防災対策（流域治水プロジェクトの推進）等を推進します。 <p>○ 水産物の品質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生管理対策や流通機能の高度化・効率化に資する施設の整備を進め、安全・安心な水産物の安定供給及び輸出促進を図ります。 離島漁港等の整備を推進し、離島水産物の振興により地域活性化を図ります。 海からの強風を遮る防風施設を整備し、荷揚げの安全性向上 	<p>国</p> <p>国</p> <p>国</p> <p>国、道、市町村、土地改良区</p> <p>国、市町村、民間</p>	<p>（国 R2までに完了）</p> <p>○農業</p> <ul style="list-style-type: none"> 国営造成土地改良施設整備事業（更岸地区）の完了（R1完了） 国営施設応急対策事業（苫前地区）の完了（R2完了） 国営総合農地防災事業（サロベツ地区）（R2完了） <p>○港湾</p> <ul style="list-style-type: none"> 防波堤（H30完了）（宗谷港） 防波堤整備事業（H30完了）（枝幸港） <p>○漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> 水深3.5m泊地及び駐車場（改良）（R2完了）（遠別漁港） 西外護岸（改良）及び水深4.0m岸壁（補修）（R2完了）（苫前漁港） 防風柵（H29完成）（礼文西漁港） 船揚場岸壁（H28完了）、道路及び護岸・防波堤の整備（H30完了）（仙法志漁港） <p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道232号耐震補強（築別橋開通）（H28完了） 深川・留萌自動車道の開通（R2完了） <p>（国 R3施行）</p> <p>○農業</p> <ul style="list-style-type: none"> 国営総合農地防災事業（産土地区）の推進 国営総合農地防災事業（ポロ沼地区・勇知地区・幌延地区）の推進 国営農地再編整備事業（東宗谷地区）の推進 農業用基幹水利施設の長寿命化のための機能診断 <p>○港湾</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産物流の効率化のための小型船だまり整

	<p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <p>○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト</p> <p>○るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト</p> <p>○活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト</p> <p>○ロシア極東との交流推進プロジェクト</p> <p>○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト</p>	<p>と水産物の品質向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学官連携による留萌管内のナマコ資源活性化の取組を進めます（ナマコ資源活性化プラットフォーム）。 		<p>備の推進（増毛港（R3完了）、羽幌港）</p> <ul style="list-style-type: none"> 農水産物輸出促進のための屋根付き岸壁の整備（増毛港（R3完了）、枝幸港） 港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、天塩港） 第一副港地区岸壁老朽化対策事業及び北防波堤ドーム予防保全事業の推進（稚内港） 物揚場整備事業の推進（宗谷港） 防波堤及び物揚場老朽化対策事業の推進（枝幸港） 物揚場老朽化対策事業の推進（鴛泊港） 防波堤整備事業の推進（香深港）
		<p>○ 物流ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定及び定時性が確保された輸送により、高鮮度の食材提供を図るため、高規格道路等のアクセスの強化、物流拠点である港湾、空港の機能強化と、これらを結ぶ広域的な物流ネットワークの整備を推進します。 	<p>国、市町村、民間</p>	<p>○漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> 新北防波堤（補修）（R3完了予定）（遠別漁港） 船揚場（改良）（R4完了予定）（苫前漁港） 岸壁（衛生管理型）の整備推進（東浦漁港） 防波堤の整備推進（R4完了予定）（抜海漁港） 防波堤、岸壁の整備推進（礼文西漁港） 防波堤、護岸の長寿命化対策のための補修工事の推進（仙法志漁港） 漁港内での稚ナマコ中間育成の実用化に向けた調査の実施（苫前漁港） <p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定） 国道232号小平防災の推進 国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定） 国道239号霧立防災の推進（R4部分開通予定） 国道238号浜猿防災の推進（R4、R6部分開通予定） 国道238号幌別橋架替の推進 <p>（民間）</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛乳工場生産能力向上の推進（豊富町）

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト</p> <p>（上川地域においても今後、人口減少を迎える中、農林業や商工業など地域経済を支える産業の担い手や後継者の不足が懸念されており、その対策が必要となっています。このため、上川地域の魅力や産業・雇用などの情報を広く発信し、若年層をはじめとする現役世代の移住・定住を促進するほか、農林業の担い手の育成や確保、地域連携による人材確保等の取組の推進など、今後の人口減少社会を見据えた地域産業の担い手・後継者対策を進めていきます。）</p> <p>■推進エリア 上川地域</p>	<p>○ 農林業の担い手育成・確保に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者等を対象とした研修会の開催 ・高校生を対象とした農業研修や林業学習会の実施 ・「北海道立北の森づくり専門学院」と連携した地域の林業・木材産業を担う人材の育成・確保 <p>○ 地域連携による人材確保等の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界・企業・行政が連携した人材確保対策の検討 ・高校生の地域定着に向けた就業支援や情報発信 ・産学官金連携によるトライアルワーク事業の推進 ・外国人材受入のための環境整備 ・中小企業の円滑な事業承継の促進 <p>○ 担い手確保に向けた移住の促進及び関係人口の創出・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住関連情報の発信や地域の魅力PR ・移住希望者向け就業関連情報の発信 ・関係機関との連携による移住促進会議等の開催 ・ワーケーションの推進など関係人口の創出・拡大 	国、道、市町村、民間、教育機関	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公立学校施設の整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト</p> <p>（ 多種多様な農畜産物が生産される上川地域の農業においては、低コスト・省力化に向けた取組を進めるとともに、良食味米をはじめとした高品質で安全・安心な農畜産物の生産を推進します。</p> <p>また、全道で最も広い森林面積を擁する当地域においては、認証を取得した森林から産出される木材を、林業・木材産業関係者が連携しながら地域内で利用する取組を促進し、豊かな森林資源の循環利用を推進します。</p> <p>こうした取組のほか、農林産物を利用した6次産業化や農商工連携による付加価値の向上に向けた取組を進めるとともに、幅広い世代への食農教育や農村ツーリズムの推進など、地域が有する豊かな資源を活かし、上川地域の基幹産業である農林業の持続的な発展を図ります。</p> <p>■ 推進エリア 上川地域</p>	<p>○ 農業生産の低コスト・省力化と農畜産物の高付加価値化等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の実情に応じた低コスト・省力化の推進 ・ 付加価値向上に向けた取組の推進 ・ 豊かで魅力ある農業・農村の確立 <p>○ 適切な森林づくりと森林認証材の利用拡大の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性に応じた森林づくりの推進 ・ 地域の特色を活かした森林認証材の利用促進 ・ 道民や企業等との協働による森林づくり <p>○ 農商工連携による地場産品の高付加価値化や販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンテナショップ等を活用したマーケティング支援 ・ 地場産品のブランド化とビジネスマッチング支援 ・ 食クラスター活動の推進 	国、道、試験研究機関、大学、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <p>○ 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業生産基盤の整備推進 <p>○ 健全な森林の整備と保全の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林及び路網の整備促進 ・ 山地災害を防ぐ治山施設の整備 <p>○ 物流ネットワーク形成のための道路網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高規格道路と一体となった道路の整備 ・ 空港、港湾などの物流拠点やI Cへのアクセス道路の整備 <p>○ 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光拠点へのアクセス道路の整備 <p>○ 自然豊かな水辺環境の整備・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河道の連続性に配慮した砂防施設の整備 ・ 良好な水辺環境の保全・創出を推進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト</p> <p>南北178kmの海岸線を有し、総面積の83パーセントを森林が占める留萌地域は、全道有数の品質を誇る米をはじめ、クリーンな野菜や果物、高品質な畜産物、甘エビ、タコ、カレイ、ヒラメ、シジミなどの多種多様な水産物など「食」の資源に恵まれています。</p> <p>留萌地域では、そうしたバラエティ豊かな食材を安定的に供給できるよう、農業の生産性向上に向けた生産基盤の強化や、水産物の経営安定に向けた資源・漁場づくりを進めるなど、持続可能な農林水産物を推進していくほか、企業や大学などと連携を図りながら、食材の魅力を十分に活かしたブランド力の強化などによる付加価値の高い商品開発や戦略的なマーケティングを通じた国内外へのさらなる販路拡大を進めていきます。</p> <p>また、豊かな農林水産物を育む環境を維持するため、エゾシカ等による農林産物被害や海獣による水産物被害を軽減する対策のほか、環境保全活動の推進や海鳥の保護、適切な森林の管理や地域材の利用推進など、自然環境の保全・再生、資源の有効利用の取組を促進していきます。</p>	<p>○ 持続可能な農業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性・収益性の高い農業の推進 環境と調和した農業の展開 エゾシカ等の有害鳥獣による農業被害対策の推進 <p>○ 日本海の豊かな恵みを活かす水産物の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産資源の適切な管理及び秩序ある利用 海域の特性に応じた栽培漁業の推進 水産資源の生育環境の保全及び創造 トド等の海獣による漁業被害対策の強化 <p>○ 地産地消や地域ブランドの創出に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者と消費者の結びつき強化 地産地消を通じた農水産物の高付加価値化 地域ブランドの創造などによる積極的な販路拡大の促進 「食」の魅力向上や情報発信力の強化 <p>○ 自然環境の持続的利用と保全、再生の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 暑寒別天売焼尻国定公園の保護と適正な利用 環境保全活動の推進 海鳥の保護活動 環境教育の推進 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ・交通拠点と主要地、主要施設を結ぶ道路の整備促進 ・高規格道路と一体となった道路整備促進 ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ・農業生産基盤の整備促進 ○農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 ・農地や農業用施設の整備促進 ・海岸を侵食から守る施設の整備の促進 ・河川などの治水施設の整備促進 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ・漁港の整備促進 ・漁場の整備促進 ○国際的な海上輸送拠点の整備 ・港湾の整備促進 ○国内海上交通ネットワークの整備 ・港湾の整備促進 ○適切な森林の整備と保全の促進 ○治山施設の整備 ・保安林の整備促進 ○自然豊かな水辺環境の整備・保全

	<p>■ 推進エリア 留萌地域</p>	<p>○ 森林資源の循環利用・木育の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・適切な管理に基づく森林整備の推進・地域材の利用推進・「木育」の推進	<ul style="list-style-type: none">・自然に配慮した河川・砂防施設などの整備促進・海岸保全施設の整備促進
--	-------------------------	---	---

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト</p> <p>（留萌地域においては、全道を上回る急速な人口減少や少子高齢化の進行などにより、基幹産業である農林水産業や商工業の担い手だけではなく、地域コミュニティにおけるリーダーなど様々な分野での人手不足が表面化してきており、地域における活力の低下が大きな課題となっています。</p> <p>一方、深川留萌自動車道の全線開通により都市部からのアクセスが向上したほか、新型コロナウイルス感染症の拡大を通じて、特に首都圏では、テレワークの活用など場所にとられない働き方や若年層を中心に地方移住への関心が高まっています。</p> <p>こうした変化を的確に捉え、移住者や関係人口などの人材を積極的に呼び込むほか、地域の特性に応じた労働力確保に向けた仕組みづくりや近年増加する外国人材の受入環境の整備など、地域を支える多様な人材を育成・確保しながら、人口減少下においても、将来にわたり安心して暮らし続けることのできる地域づくりを進めていきます。</p> <p>■推進エリア 留萌地域</p>	<p>○ 地域の産業を支える働き手の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業における多様な担い手育成・確保 ・高校や大学などの教育機関と連携した取組の推進 ・官民が一体となった働き手確保に向けた取組の推進 <p>○ 女性や外国人材、移住者など多様な人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力発信や移住・定住の取組促進 ・多様な人材受入のための集落対策の推進 ・外国人材受入環境の整備 ・「留萌振興局管内女性活躍支援ネットワーク」による関係機関の連携支援 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ・交通拠点と主要地、主要施設を結ぶ道路の整備促進 ・高規格道路と一体となった道路整備促進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト</p> <p>（宗谷地域の基幹産業である酪農業や漁業では、人口減少や高齢化の進行などにより担い手が不足するとともに、生産性向上に向けた取組や経営継続に必要な投資が十分に進んでいないこと、また、水産資源の減少などが課題となっています。</p> <p>さらに、TPP11協定など国際貿易協定の相次ぐ締結、発効に伴い、関税の段階的な引き下げによる1次産品の価格低下などが懸念されている中、地域の持続的な発展に向けて、宗谷の特色を活かした農林水産業の振興に取り組む必要があります。</p> <p>こうしたことから、酪農業については、生乳生産の維持・拡大のため、生産基盤の整備や草地の植生・飼養環境の改善、営農支援組織の充実による生産性の高い酪農経営の確立を図ります。</p> <p>漁業については、海域の特性に応じた栽培漁業を推進することにより、生産の維持安定を図ります。</p> <p>また、林業については、トドマツ等の人工林が利用期を迎えており、これらの森林資源の循環利用に向け、森林施業の低コスト化や木材利用の推進等を図ります。</p> <p>さらに、食のブランド化の推進に当たっては、地域食材の特性を活かした商品の開発や販路の拡大を図る取組を支援するほか、食関連産業に携わる人材の育成に取り組むなど、基幹産業である1次産業の基盤強化を目指します。</p>	<p>○ 宗谷産農水産物の付加価値向上やブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における食関連産業の強化を目的とした地域食マーケティング人材の育成 ・農水産物の高付加価値化を目的とした商品の開発や改良の促進 ・販路の開拓・拡大に向けたプロモーションの展開 <p>○ 広大な草地資源を活かした宗谷酪農の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草地整備や牛舎等の施設整備・機械導入の推進 ・草地の植生や飼養環境の改善等の推進 ・営農支援組織の充実による、飼料生産等の外部化や効率化の推進 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高規格道路の整備 ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ○農産物流通の合理化などのための農道の整備 ○農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ○生活環境の向上など快適で住みよい農山漁村づくり ○健全な森林の整備と保全の推進

	<p>■推進エリア 宗谷地域</p>	<p>○ 日本海やオホーツク海の海域の特性に応じた栽培漁業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタテ・ニシンなど海域の特性に応じた種苗放流の実施 ・漁場機能回復の取組によるコンブの生産増大の推進 ・秋サケの資源安定化のための、稚魚の生産・放流体制の見直し 		
		<p>○ 地域の特性に応じた森林資源の循環利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林施業の低コスト化に向けた基盤整備等 ・間伐及び伐採後の再生林の着実な推進 ・地域で産出される木材の利用拡大 		

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>ロシア極東との交流推進プロジェクト</p> <p>（道北連携地域は、宗谷海峡を隔てて国境を接し、歴史的にもつながりが深いロシア連邦サハリン州を始め、ロシア極東地域と地理的に近い位置にあり、これまでも文化、スポーツ、観光などの分野において市町村や民間団体などによる友好交流が行われています。</p> <p>また、近年は道北地域が連携し、ビジネスマッチングのためのサハリンのバイヤーの招へいや「ユジノサハリンスク道北物産展」を開催するなど経済交流の取組を進めています。</p> <p>道北連携地域ではグローバル化の潮流を捉え、人口減少に伴う域内需要の減少に対応するためにも、これまで築いてきた友好関係や地理的優位性を活かしたロシア極東地域との経済交流をより一層推進し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>■推進エリア 道北連携地域</p>	<p>○ サハリン州等との友好交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市との交流事業の実施 ・文化・スポーツ交流事業の実施 <p>○ ロシア極東との物流の活性化など経済交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道産品の販路拡大に向けた取組の実施 ・ロシア極東地域への道北地域の魅力発信 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ・空港・港湾などの物流拠点へのアクセス道路の整備 ○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・外国人のための外国語標記の案内板などの整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト</p> <p>宗谷地域は、若年層の管外流出など、管内人口の減少が依然続いており、地域経済の縮小や、人手不足・後継者難による地域産業を担う人材確保など、将来に渡る課題に結びついています。</p> <p>地域が継続的に発展するためには、住民が輝いて暮らすことが重要です。こうしたことから、地域の魅力を伝えながら、様々な世代がふるさとに愛着を持ち、住み続けられる環境を整えるとともに、多様な主体がつながり合う活力あふれる宗谷地域を目指します。</p> <p>■推進エリア 宗谷地域</p>	<p>○ 多様な人材がつながり支え合う環境づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生等の地元定着や都市部若者のU・Iターンの促進 ・首都圏等における関連イベントでの地域の魅力発信 ・地域の定住対策や「ちょっと暮らし」、「おためし暮らし」の利用拡大など移住関連施策の充実 ・地域内外の新しい視点を活かしたネットワーク構築の推進 ・多様な担い手・人材の育成・確保と地域コミュニティ機能の強化 ・離島新規漁業就業者の確保対策の推進 ・就業環境の改善や多様な研修の実施などによる森林づくり ・地域住民と外国人が互いの理解を深め、共に安全に安心して暮らせる環境づくり 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ○高規格道路の整備 ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ○農産物流通の合理化などのための農道の整備 ○農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ○生活環境の向上など快適で住みよい農村漁村づくり ○健全な森林の整備と保全の推進

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

地域重点プロジェクト

[観光関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

多様な魅力あふれる観光の振興

■連携地域の主な施策の方向

- 雄大で美しい自然環境や多彩な食などの地域資源を活かした通年・滞在型観光地づくりや広域観光の推進
- 外国人観光客の受入体制の整備・促進
- 広域的なスポーツ、アウトドアイベントの開催やスポーツ・音楽合宿の誘致等
- これまでの広域連携を踏まえた空港を核とした観光客誘致の推進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	道北広域観光活性化プロジェクト 地域の交流及び関係人口を更に増やし地域の活性化を図るため、北海道横断自動車道に繋がる道北地域の幹線道路ネットワーク整備等の推進及び地域内のアクセス性の向上を図るとともに、道北地域一帯を巡る観光ルートの開発に繋がる観光振興に配慮した基盤整備を行い、地域資源を最大限活用して、地域全体が広域的に連携した魅力と競争力ある観光地づくりを進め、国内外の新たな観光需要を取り込み、リピーターを増やし、観光客を北へ誘導する仕組みづくりを促進します。	○ 広域周遊型観光の促進 ・観光地へのアクセスや観光地間の周遊の利便性向上のためのゲートウェイ（空港、港湾）機能、サハリン州との交流促進のための空港機能、ネットワーク（高規格道路網等）機能の強化や整備	国、道、市町村	（国 R2までに完了） ○道路 ・国道232号耐震補強（築別橋開通）（H28完了） ・旭川十勝道路（富良野道路）の開通（H30完了） ・国道237号花園橋架替の完成（R2完了） ・深川・留萌自動車道の開通（R2完了） ○港湾 ・岸壁老朽化対策事業（H29完了）（沓形港） ・羽幌港における離島フェリー動揺対策（R1完了） ○農業 ・国営農地再編整備事業（富良野盆地地区）（R2完了） ・国営総合農地防災事業（サロベツ地区）（R2完了）

<p>■推進エリア 道北連携地域</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <p>○魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト</p> <p>○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト</p> <p>○ロシア極東との交流推進プロジェクト</p> <p>○天塩川ブランド力向上プロジェクト</p> <p>○人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト</p>	<p>○ 観光資源の保護、育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界的に価値ある自然資源としてのサロベツ原野の保全、再生 北海道遺産である天塩川における環境整備の推進 	<p>国、道、市町村、民間</p>	<p>(国 R3施行)</p> <p>○河川</p> <ul style="list-style-type: none"> 美瑛川地区かわまちづくり (R1年度完了) ※R2は国際観光旅客税財源予算により案内看板、路面標示等の実施 名寄川地区かわまちづくり (管理用通路の整備等) の推進 天塩川下流自然再生事業の推進
	<p>○ 観光振興に配慮した基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観に配慮した道路整備の推進 河川空間の利用者に配慮した河川整備の推進 食のブランド力向上のための、農漁村環境・景観に配慮した生産基盤整備の推進 移動を含めて楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム、河川空間やインフラを活用したツーリズム、自然体験等を含むアドベンチャートラベル等、地域資源を活用した観光振興に向けた環境の創出 広域観光周遊ルート形成に向けた観光地点間の連携強化と外国人観光客の文化習慣に配慮した受入環境や観光案内の充実 無電柱化、交通安全対策の推進 外国人客4,000万人時代に向けたインフラ整備 人が集まる魅力的な場となる複合交流拠点づくりの推進 	<p>国、道、市町村</p> <p>国、道、市町村</p> <p>国、道、市町村</p> <p>国、道、市町村、民間</p> <p>国、道、市町村、民間</p> <p>国、道、市町村</p> <p>市町村</p>	<p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道縦貫自動車道 (士別剣淵～名寄) の推進 旭川十勝道路 (富良野北道路) の推進 国道40号音威子府バイパスの推進 (R7全線開通予定) 国道452号五稜道路の推進 国道39号 比布大橋架替の推進 国道40号天塩防災の推進 (R5部分開通予定) 国道232号小平防災の推進 国道232号高砂橋架替 (R5全線開通予定) 国道239号霧立防災の推進 (R4部分開通予定) 国道238号浜猿防災の推進 (R4、R6部分開通予定) 国道40号稚内中央電線共同溝の推進 国道238号幌別橋架替の推進 <p>○港湾</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光地へのアクセス向上に資する航路の整備の推進 (留萌港) 防波堤整備事業の推進 (沓形港) 大型クルーズ船の受入環境改善、北防波堤ドーム予防保全事業の推進 (稚内港) <p>○空港</p> <ul style="list-style-type: none"> 空港施設の改良・更新の完了 (R4完了予定) (稚内空港) <p>○農業</p> <ul style="list-style-type: none"> 国営農地再編整備事業 (上士別地区、東宗谷地区) の推進 国営緊急農地再編整備事業 (北野地区、愛別地区、大雪東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪東川第二地区、旭東地区) の推進 国営総合農地防災事業 (産土地区、勇知地区、ポロ沼地区、幌延地区) の推進 「わが村は美しくー北海道」運動の推進
	<p>○ 住民と連携した観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> シーニックバイウエイ活動団体と連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの促進 	<p>国、道、市町村、民間</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の価値創造力を高める多様な人材の広域的・横断的な支援・協働体制として、地域パートナーシップ活動を展開 ・水産業と観光の連携など水産業を核とした地域振興方針であるマリビジョンの推進 ・地域住民とともに、みなとを活用した交流拠点を形成し、地域の賑わい創出を図る北海道みなとオアシスの促進 ・地域の景観、交流など地域住民主体の地域活性化活動を支援する「わが村は美しくー北海道」の推進 ・まちづくりと一体となった 魅力ある水辺空間の創出及び「かわたびほっかいどう」プロジェクトの推進 		<p>(市町村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひがしかぐら森林公園リニューアル基本計画 ・美瑛町景観計画 ・旭川市自転車ネットワーク計画 ・第2次旭川市スポーツ振興計画 ・名寄市観光振興計画 ・冬季スポーツ拠点化プロジェクト ・浜頓別町交流館（H30供用）
--	--	--	--	---

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト</p> <p>（天塩川や大雪山、日本海オロロンライン、利尻礼文サロベツ国立公園をはじめとした特色ある自然、高品質ブランド米や多種多様な野菜、果樹、豊富な海産物や乳製品などの食、歴史や写真、絵本などの芸術文化等を活かした地域の魅力発信、広域周遊や体験・滞在型観光等を推進するほか、スポーツ・音楽の合宿の誘致などを通じて、道北地域への来訪促進を図ります。）</p> <p>■推進エリア 道北連携地域</p>	<p>○ 特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある自然や地域特有の歴史・風土、芸術文化に関する国内外への情報発信 ・自然や芸術文化等をテーマとしたイベントの実施や国内外との交流の推進 ・自然環境・歴史文化の保全や芸術文化の振興 <p>○ 空港運営の一括民間委託を契機とした航空ネットワークの充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離島路線を含む航空路線維持・拡大に向けた取組の推進 ・空港の機能向上に向けた取組の推進 ・空港の利用促進に向けた取組の推進 ・戦略的な空港間連携に向けた取組の推進 <p>○ 「食」や「食文化」をテーマとしたフードツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食」の魅力を活かす生産者、観光事業者、ホテル・飲食店等の連携促進 ・道北地域の「食」の魅力を集積したイベントの活用による観光振興 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高規格道路の整備 ・高規格道路の整備促進 ○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・観光拠点へのアクセス道路の整備 ・航空機の安定運航確保など、空港機能維持のための施設整備 ○都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備 ・都市の円滑な交通を確保するためのバイパス、環状・放射道路の整備 ・渋滞解消や市街地の一体化のための立体交差などの整備

		<p>○ 広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験観光メニューの開発や受入体制の整備等による観光地づくり ・地域間の連携による広域周遊観光の推進 ・3 振興局の共同プロモーション及び情報発信による誘客促進 		
		<p>○ 離島観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離島の魅力を活かした観光の推進 		
		<p>○ 地域の気候風土や街並みなどを活かしたスポーツや音楽合宿の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ及び音楽の合宿誘致 ・スポーツや文化プログラムの振興 ・情報の発信・共有化 ・受入体制の整備推進 		

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト【再掲】</p> <p>南北178kmの海岸線を有し、総面積の83パーセントを森林が占める留萌地域は、全道有数の品質を誇る米をはじめ、クリーンな野菜や果物、高品質な畜産物、甘エビ、タコ、カレイ、ヒラメ、シジミなどの多種多様な水産物など「食」の資源に恵まれています。</p> <p>留萌地域では、そうしたバラエティ豊かな食材を安定的に供給できるよう、農業の生産性向上に向けた生産基盤の強化や、水産業の経営安定に向けた資源・漁場づくりを進めるなど、持続可能な農林水産業を推進していくほか、企業や大学などと連携を図りながら、食材の魅力を十分に活かしたブランド力の強化などによる付加価値の高い商品開発や戦略的なマーケティングを通じた国内外へのさらなる販路拡大を進めていきます。</p> <p>また、豊かな農林水産物を育む環境を維持するため、エゾシカ等による農林産物被害や海獣による水産被害を軽減する対策のほか、環境保全活動の推進や海鳥の保護、適切な森林の管理や地域材の利用推進など、自然環境の保全・再生、資源の有効利用の取組を促進していきます。</p> <p>■推進エリア 留萌地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持続可能な農業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・生産性・収益性の高い農業の推進 ・環境と調和した農業の展開 ・エゾシカ等の有害鳥獣による農業被害対策の推進 ○ 日本海の豊かな恵みを活かす水産業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・水産資源の適切な管理及び秩序ある利用 ・海域の特性に応じた栽培漁業の推進 ・水産資源の生育環境の保全及び創造 ・トド等の海獣による漁業被害対策の強化 ○ 地産地消や地域ブランドの創出に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・生産者と消費者の結びつき強化 ・地産地消を通じた農水産物の高付加価値化 ・地域ブランドの創造などによる積極的な販路拡大の促進 ・「食」の魅力向上や情報発信力の強化 ○ 自然環境の持続的利用と保全、再生の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・暑寒別天売焼尻国定公園の保護と適正な利用 ・環境保全活動の推進 ・海鳥の保護活動 ・環境教育の推進 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・交通拠点と主要地、主要施設を結ぶ道路の整備促進 ・高規格道路と一体となった道路整備促進 ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産基盤の整備促進 ○農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・農地や農業用施設の整備促進 ・海岸を侵食から守る施設の整備の促進 ・河川などの治水施設の整備促進 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・漁港の整備促進 ・漁場の整備促進 ○国際的な海上輸送拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・港湾の整備促進 ○国内海上交通ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・港湾の整備促進 ○適切な森林の整備と保全の促進 ○治山施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・保安林の整備促進 ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・自然に配慮した河川・砂防施設などの整備促進 ・海岸保全施設の整備促進

		<p>○ 森林資源の循環利用・木育の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・適切な管理に基づく森林整備の推進・地域材の利用推進・「木育」の推進		
--	--	---	--	--

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>ロシア極東との交流推進プロジェクト【再掲】</p> <p>道北連携地域は、宗谷海峡を隔てて国境を接し、歴史的にもつながりが深いロシア連邦サハリン州を始め、ロシア極東地域と地理的に近い位置にあり、これまでも文化、スポーツ、観光などの分野において市町村や民間団体などによる友好交流が行われています。</p> <p>また、近年は道北地域が連携し、ビジネスマッチングのためのサハリンのバイヤーの招へいや「ユジノサハリンスク道北物産展」を開催するなど経済交流の取組を進めています。</p> <p>道北連携地域ではグローバル化の潮流を捉え、人口減少に伴う域内需要の減少に対応するためにも、これまで築いてきた友好関係や地理的優位性を活かしたロシア極東地域との経済交流をより一層推進し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>■推進エリア 道北連携地域</p>	<p>○ サハリン州等との友好交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市との交流事業の実施 ・文化・スポーツ交流事業の実施 <p>○ ロシア極東との物流の活性化など経済交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道産品の販路拡大に向けた取組の実施 ・ロシア極東地域への道北地域の魅力発信 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ・空港・港湾などの物流拠点へのアクセス道路の整備 ○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・外国人のための外国語標記の案内板などの整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>天塩川ブランド力向上プロジェクト</p> <p>天塩川周辺地域は、天塩岳にはじまり音威子府溪谷などを経て、河口域に広がるサロベツ原野に至る豊かな自然や美しい景観があります。</p> <p>天塩川は、幕末の探検家「松浦武四郎」による「北海道」命名の地とされ、流域は貴重な野鳥であるオオワシの越冬地やオジロワシの繁殖地などの重要な拠点であるとともに、河口から遡ること約157kmの間に人工の横断工作物が無く、その距離は日本一であることから日本有数のカヌー適地として知られており、平成16年には北海道遺産に選定されています。</p> <p>この地域では、上流部の豊富な森林資源を活用した林業や、上・中流域の肥沃な農地に支えられた稲作・畑作が営まれ、下流域には大規模な酪農地帯が広がっており、さらに、河口近くでは、サケ・マス漁が盛んに行われているほか、環境変化等で減少したシジミ資源の回復に取り組んでいます。</p> <p>しかし、こうした様々な魅力ある地域資源があるものの、都市部から離れていることや知名度の低さから、観光客やイベント集客数が低い状況にあり、地域全体で天塩川の恵みを再認識し、そこを基軸とした広域連携の取組を強化し、情報を発信していくことが必要です。</p> <p>このため、この地域の美しい景観や川の恵みを活かした「食」、「自然豊かな住環境」等を道内外に発信することにより、「天塩川」の価値をさらに高め、天塩川周辺地域の交流・関係人口の創出・拡大に向けた取組を推進します。</p>	<p>○ 地域連携による絆の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天塩川の恵みの再認識 ・地域連携の強化 <p>○ 魅力創造・情報発信によるブランド力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境や地域資源を活かした地域づくり ・SNS等を活用した情報の発信 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高規格道路の整備 ・高規格道路の整備促進 ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 ・良好な水辺環境の保全・創出を推進

■ 推進エリア
道北連携地域

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト</p> <p>（上川地域は、全国から登山客が訪れる大雪山連峰等を擁しており、これまでも自然豊かな大雪山の魅力を発信するとともに、大雪山の恵みである清らかな水や豊富な農作物、素晴らしい景観などを活かし、地域のイメージアップに取り組んできたところです。しかしながら、近年、中高年を中心とした登山ブームの中でのオーバーユースによる登山道の荒廃や山岳トイレ問題、さらにこれらに端を発する貴重な高山植物の減少などの問題が顕著となってきました。このような状況を踏まえ、大雪山の貴重な自然を守り次世代に引き継ぐため、官民協働型の登山道管理を進めるための事業を展開するほか、観光地域づくりの根幹を担う民間団体や関係市町村とも連携しながら、まだ知られていない大雪山の観光資源などの魅力発信を進めます。）</p> <p>■推進エリア 上川地域</p>	<p>○ 魅力的な自然環境の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山植物保護のためのパトロール ・官民協働型の自然公園施設維持管理 <p>○ 大雪山の恵みを活かした地域の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道内外のイベント等における大雪山の魅力PR ・大雪山周辺地域のイメージアップ及び周遊促進に向けた情報発信 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 ・河道の連続性に配慮した砂防施設の整備 ・良好な水辺環境の保全・創出を推進 <p>○高規格道路の整備</p> <p>○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光拠点へのアクセス道路の整備

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

地域重点プロジェクト

[環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり

■連携地域の主な施策の方向

- 脱炭素型の地域づくりの実現に向け、自然特性を活かした風力、太陽光、雪氷、地熱、木質バイオマスなどを活用した新エネルギーなどの導入や普及を推進
- 地域医療と保健・福祉の充実、少子化対策に向けた取組の推進
- 感染症に強い地域を目指し、必要な検査及び医療を迅速かつ適切に提供するなど、安全・安心な社会経済活動に向けた取組の推進
- 災害に強いインフラの整備と防災・減災体制の充実・強化
- コンパクトなまちづくりや高齢者が暮らしやすい環境づくりの推進
- 地域を支える多様な人材の育成・確保と移住・定住の促進やワーケーションの推進など関係人口の創出・拡大に向けた取組の推進
- 野生鳥獣の適正な保護管理・利活用のための取組の推進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	豊かな自然環境保全プロジェクト サロベツ原野に代表される地域の自然環境の保全に配慮し、農地、河川、湖沼、海域が保全する環境保全機能の維持回復を図ることで、豊かな生態系との共生や循環型社会の形成、脱炭素社会や2050年カーボンニュートラル（ゼロカーボン北海道）の実現に向けた取組を推進します。また、風力を始めとする豊富な再生可能エネルギー源	○ 河川周辺の環境の保全 ・河川・ダム湖等の水辺周辺の緑の保全を図るとともに、多様な生物種の生息・生育環境の確保を図るため多自然川づくりを推進します。 ・多様な動植物の生息環境を確保するため、汽水環境の再生を図ります。 ・河川を身近な自然体験の場として活用するため、良好な水辺環境を整備します。	国、道、市町村、民間 国、道、市町村 国、道、市町村、民間	（国 R2までに完了） ○農業 ・国営造成土地改良施設整備事業（山部二期地区（小水力発電））（R1完了） ・国営総合農地防災事業（サロベツ地区（R2完了）） （国 R3施行） ○河川 ・魚類等の生息・産卵環境の復元に

<p>を活用して、エネルギーの地産地消を進めるなど、北のエネルギー拠点を目指します。</p> <p>■推進エリア 道北連携地域</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <p>○新エネルギー導入・活用推進プロジェクト</p> <p>○天塩川ブランド力向上プロジェクト</p> <p>○人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト</p> <p>○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト</p> <p>○人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト</p>	<p>○北海道遺産である天塩川における環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類の連続性確保（魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討） ・下流汽水域の環境保全整備 ・旧川（河川改修等により水が流れていない昔の河道）の環境整備 	<p>国、道</p> <p>国</p> <p>国</p>	<p>配慮した河床洗掘対策（石狩川上流南永山地区）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水際の多様化に配慮した河道掘削と河岸保護（石狩川上流辺別川地区、天塩川上流美深地区）の推進 ・サンルダムにおけるダム湖周辺環境保全の推進 ・魚類等の移動の連続性確保に向けた調査・検討の推進（天塩川流域） ・魚類等の生息環境の保全・改善、魚類の移動の連続性確保 ・魚類等の移動の連続性及び生息環境の保全の推進（天塩川下流） ・汽水域等の環境整備の推進（天塩川下流） ・まちづくりと一体となった水辺整備の推進（天塩川下流）
	<p>○環境に配慮した整備の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水生生物の生息環境に配慮した構造の防波堤などの整備を図ります。 ・水路の自然護岸化、魚道の設置など生物の移動経路を確保した農業用排水施設の整備を図ります。 ・動植物の生息環境に配慮した道路整備を図ります。 ・河川の水質に配慮した排水施設の整備を図ります。 	<p>国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魚類等の生息環境の保全・改善、魚類の移動の連続性確保 ・魚類等の移動の連続性及び生息環境の保全の推進（天塩川下流） ・汽水域等の環境整備の推進（天塩川下流） ・まちづくりと一体となった水辺整備の推進（天塩川下流）
	<p>○農業とサロベツ湿原の共生に向けた整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と湿原の共生に向けた関係機関との連携をもとに、緩衝帯や沈砂池を設置します。 	<p>国、市町村</p>	<p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定） ・国道238号浜猿防災の推進（R4、R6部分開通予定）
	<p>○環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの導入や地域分散型エネルギーシステムの導入の促進 	<p>国、道、市町村、民間</p>	<p>○農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営総合農地防災事業（産土地区）の推進 ・国営かんがい排水事業（当麻永山用水地区（小水力発電））の推進 <p>（市町村）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上川町地域新エネルギービジョン ・第11次比布町まちづくり計画 ・自然エネルギー再生・活用プロジェクト（音威子府村） ・平成28年8月激甚災害からの復興を目指すトリエネ・スマート・コンパクトタウン事業（南富良野町）

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
<p>国</p>	<p>安全・安心な地域づくり防災力向上プロジェクト</p> <p>道北地域では、近年、特に石狩川や留萌川、天塩川等の洪水被害や、地震・津波による被害、大雨や冬期間の地吹雪等の影響による通行止めが発生しています。今後も気候変動により、災害が更に頻発、激甚化することが懸念されており、洪水・地震・津波・火山対策、土砂災害や冬期複合災害等に備えるハード、ソフト一体となった防災・減災、国土強靱化対策を加速化し、重点的かつ集中的に対策を講じることにより、多様な主体と連携した地域防災力の高い安全・安心な地域づくりを目指します。</p> <p>■推進エリア 道北連携地域</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <p>○安全・安心な地域づくりプロジェクト</p>	<p>○ 石狩川・留萌川及び天塩川の洪水に対する安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年被災した河川における再度災害を防止する対策等の推進 ・「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組の推進 ・水害等から人命と財産を守る河川改修、ダム等の整備促進 ・災害時における水防活動や災害復旧のための拠点の整備 ・農業用ダムや頭首工改修等による農地の洪水災害の未然防止 ・流域のあらゆる関係者が協働して行う「流域治水プロジェクト」の推進 	<p>国、道、市町村 国、道、市町村 国、道 国、道 国、道、市町村、民間</p>	<p>(国 R2までに完了)</p> <p>○河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンルダム建設事業の推進(H31.4より管理に移行) <p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道232号耐震補強(築別橋開通)(H28完了) ・旭川十勝道路(富良野道路)の開通(H30完了) ・国道237号花園橋架替(R2完了) ・深川・留萌自動車の開通(R2完了) <p>○港湾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防波堤整備事業(H30完了)(宗谷港、枝幸港) <p>○漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・護岸整備の完了(H30完了)(苫前漁港) ・西外護岸改良の完了(R2完了)(苫前漁港) ・防風柵(H29完了)(礼文西漁港) ・護岸の整備(H30完了)(仙法志漁港) <p>○農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営総合農地防災事業(とうま地区(H29完了)、空知川地区(H28完了)) ・国営総合農地防災事業(サロベツ地区)(R2完了) <p>(国 R3施行)</p> <p>○河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石狩川上流河床洗掘対策(南永山地区)の推進 ・忠別川河岸侵食対策(千代田地区)の推進 ・辺別川河岸・堤防侵食対策の推進 ・石狩川上流支川の合流点整備(近文地区)の推進
		<p>○ 地震、津波等に対する安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法面対策、耐震補強、豪雨対策、越波対策、予防保全事業等による安全快適な道づくりの推進 ・船舶を波浪から守る防波堤などの外郭施設の整備 ・道路の防災、老朽化対策、無電柱化、代替性確保のための道路ネットワーク整備の推進 	<p>国、道、市町村 国、道、市町村</p>	
		<p>○ 土砂災害に対する安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十勝岳の火山泥流対策として、砂防施設の整備促進 ・土石流から下流域の安全度を向上させるための砂防事業の推進 	<p>国</p>	
		<p>○ 地吹雪対策などによる冬期交通の安全性等向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の猛烈な地吹雪などによる通行止め解消や交通事故防止のため、効率的な除排雪の実施や、雪崩防止施設、防雪林等の整備 ・冬期間における稚内空港の信頼性向上に資する就航率改善対策 	<p>国、道、市町村 国</p>	

		<p>○ 地域防災力向上の取組推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ円滑な災害対応に向けた防災関係機関の連携強化 ・空知川幾寅地区における水位周知河川等への指定、浸水想定区域図の公表、避難勧告等発令に着目したタイムラインの作成など、住民避難を促すためのソフト対策を推進 ・ハザードマップ作成・普及支援や講習会実施等地方公共団体の防災力向上推進 ・防災教育・指導者養成支援や防災訓練実施等地域との協働による減災・防災対策の取組 ・十勝岳の観測監視体制の充実 ・防災関係機関が連携した災害対策を支援するための防災情報共有化推進 ・サハリンプロジェクト関連等の油流出事故に対応し、北海道北部沿岸域における油防除対策機能の検討 ・「道の駅」の防災機能強化の推進 	<p>国、道、市町村 国、道、市町村 国、道、市町村 国、道、市町村、民間 国 国、道、市町村 国 国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防事業（層雲峡地区遊砂土工、美瑛川堰堤部掘 等）の推進 ・天塩川河道掘削（美深地区、楠地区）の推進 ・天塩川下流での河川改修の推進（河道掘削、樹木伐採、築堤、天端保護） ・留萌川での河川改修の推進（河道掘削、導流堤改築、排水機場耐水化、法尻補強、築堤） <p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進 ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進 ・国道40号音威子府バイパスの推進（R7全線開通予定） ・国道39号比布大橋架替の推進 ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定） ・国道232号小平防災の推進 ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定） ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通予定） ・国道238号浜猿防災の推進（R4、R6部分開通予定） ・国道40号稚内中央電線共同溝の推進 ・国道238号幌別橋架替の推進
		<p>○災害時の支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地情報連絡員（リエゾン）、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、水土里（みどり）災害派遣隊等の派遣、除雪機械や災害対策用資機材の貸与等、きめ細やかな地域支援やバックアップ体制の強化 	<p>国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○港湾 ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、増毛港（小型船だまり整備はR3完了）、羽幌港、天塩港、稚内港） ・防波堤整備事業の推進（香深港、沓形港） ○漁港 ・漁船航行の安全性向上のための防波堤整備の推進（遠別漁港） ・船揚場（改良）（R3完了予定）（苫前漁港）

				<ul style="list-style-type: none">・防波堤の整備推進（R4完了予定） （抜海漁港）・防波堤、岸壁の整備推進（礼文西漁港） <p>○農業</p> <ul style="list-style-type: none">・国営総合農地防災事業（産土地区・勇知地区・ポロ沼地区・幌延地区）の推進 <p>（市町村）</p> <ul style="list-style-type: none">・東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）（旭川市）
--	--	--	--	--

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>安全・安心な地域づくりプロジェクト</p> <p>（ 少子高齢化が進むなか、広大で離島も有する道北地域において、心身ともにすこやかで活力ある生活を送るためには、病気の予防・生活習慣の改善など自らの健康の保持・増進が重要であるとともに、地方・地域センター病院を中心に地域における医療機関が機能分担と連携を図り、地域に必要な医療体制を確保し、救急医療体制を充実することが求められています。</p> <p>また、安心して子どもを生み育て、高齢者を含めた誰もが住み慣れた街で元気に暮らせることが必要とされています。</p> <p>こうしたことから、地域住民が健康で安心して暮らせるよう、地域の連携による医療体制の確保や地域包括ケアシステムの推進を図るとともに、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりのための子育て支援施策の充実に努めます。</p> <p>また、近年の激甚化する自然災害等に対する防災対策として、市町村への情報提供や研修会の開催による自主防災組織の充実、防災関係機関の連携強化による地域防災力の向上など、地域住民が安心して暮らせるよう、防災・減災の取組を進めていきます。</p> <p>■ 推進エリア 道北連携地域</p>	<p>○ 全ての世代が安心して暮らせる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療連携や救急医療体制の充実 ・ 医療と介護の連携の推進 ・ 地域医療従事者等の養成・確保 ・ 子どもを生み育てることができる環境づくりの推進 ・ 高齢者が住み慣れた街で元気に暮らせる社会の形成 <p>○ 災害(地震、津波、大雨、火山等)に対する防災体制の強化等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織カバー率向上への取組 ・ 防災関係機関との連携強化 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高規格道路の整備 ・ 高規格道路の整備促進 ○ 安全で安心な道路交通環境の整備 ・ 幹線道路や通学路等における交通安全対策の推進 ・ 地域医療を支える交通ネットワークの整備 ○ 冬期における安全で快適な道路交通の確保 ・ 冬期を踏まえた歩行空間の確保のための広幅員歩道の整備推進 ・ 地吹雪・雪崩対策など冬に強い道路の整備 ○ 災害に備えた安全な道路交通環境の整備 ・ 避難路や緊急輸送道路、危険箇所の防災対策などの整備 ○ 洪水や土砂災害、火山噴火や大規模地震、津波などに備えた安全性の高い災害防止施設の整備 ・ 火山砂防施設や、土砂災害対策施設の整備 ・ 総合的な治水・利水対策の推進 ・ 火山噴火緊急減災対策砂防の推進 ・ 海岸の高潮・浸食・津波対策施設などの整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>新エネルギー導入・活用推進プロジェクト</p> <p>道北地域には、風力、太陽光やバイオマス、中小水力、地熱のほか、積雪寒冷な気候を活かした雪氷冷熱など、多様な新エネルギー資源が存在しています。留萌、宗谷地域では、恵まれた風況を活かした風力発電の開発が進められており、両地域で全道の風力発電設備容量の35%以上を占めています。また、稚内市のメガソーラー発電施設の公共的な活用の取組や、上川町の地熱発電計画、上川管内各地の木質バイオマスエネルギーを活用した取組など、脱炭素型の地域づくりを見据え、各地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消の取組が進められています。</p> <p>しかし、新エネルギーの導入、活用を加速化させるには、採算性や法規制のほか、地域社会の理解や協力、送電網の容量など、解決しなければならない課題も多くあります。</p> <p>こうしたことから、連携地域を構成する上川、留萌、宗谷の各地域における新エネルギーの導入ノウハウや効果などについて情報共有を図るとともに、各地域の自然や産業に根ざした新エネルギーなどについて、導入に向けた活動の促進や活用の推進を図ります。</p> <p>■推進エリア 道北連携地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域が連携した新エネルギー導入促進の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・政策課題の発掘・整理や情報の共有 ・新エネルギーの周知・PR ○ 自然に根ざしたエネルギーの地産地消に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・風力発電・太陽光発電など新エネルギーの取組の促進 ○ 木質バイオマスの安定供給やエネルギー利用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域関係者が連携した木質バイオマス安定供給体制の構築 ・木質バイオマスの発生情報の発信 ・木質バイオマスのエネルギー利用に対する支援 ○ 地熱発電の導入に向けた取組支援 <ul style="list-style-type: none"> ・法規制等の課題解決に向けた関係機関への働きかけ ・地域の合意形成の推進 ○ 農村地域における新エネルギーの導入・利用拡大の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・農村地域におけるバイオマス利用拡大 ○ 中小水力発電施設の導入支援 <ul style="list-style-type: none"> ・中小水力発電施設の導入に係る各種事業制度の活用支援 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新エネルギーの開発・活用促進と送電網の整備促進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>天塩川ブランド力向上プロジェクト【再掲】</p> <p>天塩川周辺地域は、天塩岳にはじまり音威子府溪谷などを経て、河口域に広がるサロベツ原野に至る豊かな自然や美しい景観があります。</p> <p>天塩川は、幕末の探検家「松浦武二郎」による「北海道」命名の地とされ、流域は貴重な野鳥であるオオワシの越冬地やオジロワシの繁殖地などの重要な拠点であるとともに、河口から遡ること約 157 km の間に人工の横断工作物が無く、その距離は日本一であることから日本有数のカヌー適地として知られており、平成 16 年には北海道遺産に選定されています。</p> <p>この地域では、上流部の豊富な森林資源を活用した林業や、上・中流域の肥沃な農地に支えられた稲作・畑作が営まれ、下流域には大規模な酪農地帯が広がっており、さらに、河口近くでは、サケ・マス漁が盛んに行われているほか、環境変化等で減少したシジミ資源の回復に取り組んでいます。</p> <p>しかし、こうした様々な魅力ある地域資源があるものの、都市部から離れていることや知名度の低さから、観光客やイベント集客数が低い状況にあり、地域全体で天塩川の恵みを再認識し、そこを基軸とした広域連携の取組を強化し、情報を発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域連携による絆の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・天塩川の恵みの再認識 ・地域連携の強化 ○ 魅力創造・情報発信によるブランド力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・環境や地域資源を活かした地域づくり ・SNS等を活用した情報の発信 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高規格道路等の整備 ・高規格道路の整備促進 ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 ・良好な水辺環境の保全・創出を推進

していく必要があります。
このため、この地域の美しい景観
や川の恵みを活かした「食」、「自然
豊かな住環境」等を道内外に発信
することにより、「天塩川」の価値
をさらに高め、天塩川周辺地域の交
流・関係人口の創出・拡大に向けた
取組を推進します。

■推進エリア
道北連携地域

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト【再掲】</p> <p>（ 上川地域は、全国から登山客が訪れる大雪山連峰等を擁しており、これまでも自然豊かな大雪山の魅力を発信するとともに、大雪山の恵みである清らかな水や豊富な農作物、素晴らしい景観などを活かし、地域のイメージアップに取り組んできたところです。 しかしながら、近年、中高年を中心とした登山ブームの中でのオーバーユースによる登山道の荒廃や山岳トイレ問題、さらにこれらに端を発する貴重な高山植物の減少などの問題が顕著となってきました。 このような状況を踏まえ、大雪山の貴重な自然を守り次世代に引き継ぐため、官民協働型の登山道管理を進めるための事業を展開するほか、観光地域づくりの根幹を担う民間団体や関係市町村とも連携しながら、まだ知られていない大雪山の観光資源などの魅力発信を進めます。</p> <p>■推進エリア 上川地域</p>	<p>○ 魅力的な自然環境の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山植物保護のためのパトロール ・官民協働型の自然公園施設維持管理 <p>○ 大雪山の恵みを活かした地域の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道内外のイベント等における大雪山の魅力PR ・大雪山周辺地域のイメージアップ及び周遊促進に向けた情報発信 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 ・河道の連続性に配慮した砂防施設の整備 ・良好な水辺環境の保全・創出を推進 ○高規格道路等の整備 ○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・観光拠点へのアクセス道路の整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト【再掲】</p> <p>南北178kmの海岸線を有し、総面積の83パーセントを森林が占める留萌地域は、全道有数の品質を誇る米をはじめ、クリーンな野菜や果物、高品質な畜産物、甘エビ、タコ、カレイ、ヒラメ、シジミなどの多種多様な水産物など「食」の資源に恵まれています。</p> <p>留萌地域では、そうしたバラエティ豊かな食材を安定的に供給できるよう、農業の生産性向上に向けた生産基盤の強化や、水産業の経営安定に向けた資源・漁場づくりを進めるなど、持続可能な農林水産業を推進していくほか、企業や大学などと連携を図りながら、食材の魅力を十分に活かしたブランド力の強化などによる付加価値の高い商品開発や戦略的なマーケティングを通じた国内外へのさらなる販路拡大を進めています。</p> <p>また、豊かな農林水産物を育む環境を維持するため、エゾシカ等による農林産物被害や海獣による水産被害を軽減する対策のほか、環境保全活動の推進や海鳥の保護、適切な森林の管理や地域材の利用推進など、自然環境の保全・再生、資源の有効利用の取組を促進していきます。</p> <p>■推進エリア 留萌地域</p>	<p>○ 持続可能な農業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性・収益性の高い農業の推進 環境と調和した農業の展開 エゾシカ等の有害鳥獣による農業被害対策の推進 <p>○ 日本海の豊かな恵みを活かす水産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産資源の適切な管理及び秩序ある利用 海域の特性に応じた栽培漁業の推進 水産資源の生育環境の保全及び創造 トド等の海獣による漁業被害対策の強化 <p>○ 地産地消や地域ブランドの創出に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者と消費者の結びつき強化 地産地消を通じた農水産物の高付加価値化 地域ブランドの創造などによる積極的な販路拡大の促進 「食」の魅力向上や情報発信力の強化 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ・交通拠点と主要地、主要施設を結ぶ道路の整備促進 ・高規格道路と一体となった道路整備促進 ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ・農業生産基盤の整備促進 ○農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 ・農地や農業用施設の整備促進 ・海岸を侵食から守る施設の整備の促進 ・河川などの治水施設の整備促進 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ・漁港の整備促進 ・漁場の整備促進 ○国際的な海上輸送拠点の整備 ・港湾の整備促進 ○国内海上交通ネットワークの整備 ・港湾の整備促進 ○適切な森林の整備と保全の促進 ○治山施設の整備 ・保安林の整備促進

		<p>○ 自然環境の持続的利用と保全、再生の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暑寒別天売焼尻国定公園の保護と適正な利用 ・ 環境保全活動の推進 ・ 海鳥の保護活動 ・ 環境教育の推進 		<p>○ 自然豊かな水辺環境の整備・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然に配慮した河川・砂防施設などの整備促進 ・ 海岸保全施設の整備促進
		<p>○ 森林資源の循環利用・木育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な管理に基づく森林整備の推進 ・ 地域材の利用推進 ・ 「木育」の推進 		

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト</p> <p>宗谷地域は、「利尻礼文サロベツ国立公園」、「北オホーツク道立自然公園」の2つの自然公園があり、ラムサール条約湿地として、クッチャロ湖、サロベツ原野が登録されるなど、魅力ある自然環境を有するとともに、広大な草地や日本海とオホーツクの恵み、地域内の7割を占める森林などを活かした1次産業が展開されています。地域の持続的な発展のためには、深刻な農林水産被害をもたらしているエゾシカやトド・アザラシといった野生鳥獣・海獣の個体数の適正な管理に努める、「植えて育てて、伐って使って、また植える」森林づくりのサイクルを繰り返す、森林資源の循環利用を推進するなど、自然との共生や環境に配慮した地域づくりを進める必要があります。</p> <p>■推進エリア 宗谷地域</p>	<p>○ 環境に配慮した地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性に応じた森林の整備及び保全の推進 ・道民の協働による森林づくりの推進 <p>○ 自然環境の保全と持続的利用、再生の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山植物の保護等を通じた自然環境の保全に向けた取組 ・自然公園の利用を通じた自然環境の理解を深める取組 ・人と自然との共生を目指した自然再生の取組 <p>○ 野生鳥獣・海獣の適正な管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エゾシカ等野生鳥獣の生息・被害に関する状況の把握及び野生鳥獣対策協議会などによる情報共有 ・トドやアザラシ等海獣類による、漁業被害防止対策の充実強化 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健全な森林の整備と保全の促進 ○治山施設の整備 ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 ○自然公園における利用施設の整備など自然とのふれあいの場づくり

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

地域重点プロジェクト

[離島関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

離島地域の振興

■連携地域の主な施策の方向

- 領海や排他的経済水域の保全など、国家的な役割を踏まえた離島地域社会の維持
- 基幹産業である水産業や観光産業の振興
- 医療体制や交通・情報通信基盤の整備など安全・安心な離島生活の確保

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	道北広域観光活性化プロジェクト【再掲】 地域の交流及び関係人口を更に増やし、地域の活性化を図るため、北海道横断自動車道に繋がる道北地域の幹線道路ネットワーク整備等の推進及び地域内のアクセス性の向上を図るとともに、道北地域一帯を巡る観光ルートの開発に繋がる観光振興に配慮した基盤整備を行い、地域資源を最大限活用して、地域全体が広域的に連携した魅力と競争力ある観光地づくりを進め、国内外の新たな観光需要を取り込み、リピーターを増やし、観光客を北へ誘導する仕組みづくりを促進します。	○ 広域周遊型観光の促進 ・観光地へのアクセスや観光地間の周遊の利便性向上のためのゲートウェイ（空港、港湾）機能、サハリン州との交流促進のための空港機能、ネットワーク（高規格道路網等）機能の強化や整備	国、道、市町村	（国 R2までに完了） ○道路 ・国道232号耐震補強（築別橋開通）（H28完了） ・旭川十勝道路（富良野道路）の開通（H30完了） ・国道237号花園橋架替の完成（R2完了） ・深川・留萌自動車の開通（R2完了） ○港湾 ・岸壁老朽化対策事業（H29完了）（沓形港） ・羽幌港における離島フェリー動揺対策（R1完了） ○農業 ・国営農地再編整備事業（富良野盆地地区）（R2完了） ・国営総合農地防災事業（サロベツ地区）（R2完了）

<p>■推進エリア 道北連携地域</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <p>○魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト</p>	<p>○ 観光資源の保護、育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界的に価値ある自然資源としてのサロベツ原野の保全、再生 北海道遺産である天塩川における環境整備の推進 	<p>国、道、市町村、民間</p>	<p>(国 R3施行)</p> <p>○河川</p> <ul style="list-style-type: none"> 美瑛川地区かわまちづくり (R1完了) ※R2は国際観光旅客税財源予算により案内看板、路面標示等の実施 名寄川地区かわまちづくり (管理用通路の整備等)の推進 天塩川下流自然再生事業の推進 <p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道縦貫自動車道 (士別剣淵～名寄)の推進 旭川十勝道路 (富良野北道路)の推進
	<p>○ 観光振興に配慮した基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観に配慮した道路整備の推進 河川空間の利用者に配慮した河川整備の推進 食のブランド力向上のための、農漁村環境・景観に配慮した生産基盤整備の推進 移動を含めて楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム、河川空間やインフラを活用したツーリズム、自然体験等を含むアドベンチャートラベル等、地域資源を活用した観光振興に向けた環境の創出 広域観光周遊ルート形成に向けた観光地点間の連携強化と外国人観光客の文化習慣に配慮した観光案内の充実 無電柱化、交通安全対策の推進 外国人客4,000万人時代に向けたインフラ整備 人が集まる魅力的な場となる複合交流拠点づくりの推進 	<p>国、道、市町村</p> <p>国、道、市町村</p> <p>国、道、市町村</p> <p>国、道、市町村、民間</p> <p>国、道、市町村、民間</p> <p>国、道、市町村</p> <p>国、道、市町村</p> <p>市町村</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国道40号音威子府バイパスの推進 (R7全線開通予定) 国道452号五稜道路の推進 国道39号 比布大橋架替の推進 国道40号天塩防災の推進 (R5部分開通予定) 国道232号小平防災の推進 国道232号高砂橋架替の推進 (R5全線開通予定) 国道239号霧立防災の推進 (R4部分開通予定) 国道238号浜猿防災の推進 (R4、R6部分開通予定) 国道40号稚内中央電線共同溝の推進 国道238号幌別橋架替の推進 <p>○港湾</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光地へのアクセス向上に資する航路の整備の推進 (留萌港) 防波堤整備事業の推進 (沓形港) 大型クルーズ船の受入環境改善、北防波堤ドーム予防保全事業の推進 (稚内港) <p>○空港</p> <ul style="list-style-type: none"> 空港施設の改良・更新の完了 (R4完了予定) (稚内空港) <p>○農業</p> <ul style="list-style-type: none"> 国営農地再編整備事業 (上士別地区、東宗谷地区)の推進 国営緊急農地再編整備事業 (北野地区、愛別地区、大雪東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪東川第二地区、旭東地区)

		<p>○ 住民と連携した観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーニックバイウェイ活動団体と連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの促進 ・地域の価値創造力を高める多様な人材の広域的・横断的な支援・協働体制として、地域パートナーシップ活動を展開 ・水産業と観光の連携など水産業を核とした地域振興方針であるマリビジョンの推進 ・地域住民とともに、みなとを活用した交流拠点を形成し、地域の賑わい創出を図る北海道みなとオアシスの促進 ・地域の景観、交流など地域住民主体の地域活性化活動を支援する「わが村は美しくー北海道」の推進 ・まちづくりと一体となった 魅力ある水辺空間の創出及び「かわたびほっかいどう」プロジェクトの推進 	<p>国、道、市町村、民間</p>	<p>の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営総合農地防災事業（産土地区、勇知地区、ポロ沼地区、幌延地区）の推進 ・「わが村は美しくー北海道」の推進 <p>(市町村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひがしかぐら森林公園リニューアル基本計画 ・美瑛町景観計画 ・旭川市自転車ネットワーク計画 ・第2次旭川市スポーツ振興計画 ・名寄市観光振興計画 ・冬季スポーツ拠点化プロジェクト ・浜頓別町交流館（H30供用）
--	--	--	-------------------	--

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	<p>留萌・宗谷の農業・水産供給力向上プロジェクト【再掲】</p> <p>（人口減少による後継者や担い手不足が一層顕在化する中、我が国の食料安全保障及び地域の主要産業である農林水産業や食関連産業を営む「生産空間」の維持発展に向けて、広大な土地を活かした農業と多種多様で恵まれた水産資源を活かし、さらにロボット、AI、IoT等の活用によるイノベーションを加速させ、良好な営農条件を備えた農地・農業用水の確保、水産資源生産力の向上、ポスト・コロナを見据えた産業振興を促進する物流ネットワークの強化等を図ることにより、高品質で安全・安心な食料供給力の強化を目指します。）</p> <p>■推進エリア 道北連携地域（留萌・宗谷）</p> <p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <p>○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト</p> <p>○るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト</p> <p>○活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト</p>	<p>○ 農産物の安定供給の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泥炭土に起因する地盤沈下の進行による湛水被害の解消等により、安全・安心な牛乳や畜産物の安定供給に向け、省力化や低コスト化を図ります。 ・農地の大区画化及び排水不良等の解消により、良好な営農条件を備えた農地の確保と農作業効率の向上を目指すとともに、農地の集積集団化や営農の組織化、先端技術を活用したスマート農業の導入により、地域ぐるみで収益性を向上させる取組を促進します。 ・老朽化が進行する農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るため、農業水利施設の戦略的な保全管理を推進します。 ・集中豪雨の増加や大規模災害の発生等、災害リスクの高まりに対応するため、農業水利施設の耐震化や「流域治水」の考え方にに基づき事前防災対策（流域治水プロジェクトの推進）等を推進します。 <p>○ 水産物の品質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理対策や流通機能の高度化・効率化に資する施設の整備を進め、安全・安心な水産物の安定供給及び輸出促進を図ります。 ・離島漁港等の整備を推進し、離島水産業の振興により地域活性化を図ります。 ・海からの強風を遮る防風施設を整備し、荷揚げの安全性向上と水産物の品質向上を図ります。 ・産学官連携による留萌管内のナマコ資源活性化の取組を進めます（ナマコ資源活性化プラットフォーム）。 	<p>国</p> <p>国</p> <p>国</p> <p>国、道、市町村、土地改良区</p> <p>国、市町村、民間</p>	<p>（国 R2までに完了）</p> <p>○農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営造成土地改良施設整備事業（更岸地区）の完了(R1完了) ・国営施設応急対策事業（苫前地区）の完了(R2完了) ・国営総合農地防災事業（サロベツ地区）(R2完了) <p>○港湾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防波堤(H30完了)（宗谷港） ・防波堤整備事業(H30完了)（枝幸港） <p>○漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水深3.5m泊地及び駐車場（改良）(R2完了)（遠別漁港） ・西外護岸(改良)及び水深4.0m岸壁(補修)(R2完了)（苫前漁港） ・防風柵(H29完了)（礼文西漁港） ・船揚場岸壁(H28完了)、道路及び護岸・防波堤の整備(H30完了)（仙法志漁港） <p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道232号耐震補強（築別橋開通）(H28完了) ・深川・留萌自動車道の開通(R2完了) <p>（国 R3施行）</p> <p>○農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営総合農地防災事業（産土地区）の推進 ・国営総合農地防災事業（ポロ沼地区・勇知地区・幌延地区）の推進 ・国営農地再編整備事業（東宗谷地区）の推進 ・農業用基幹水利施設の長寿命化のための機能診断

	<p>○安全・安心な地域づくりプロジェクト</p> <p>○新エネルギー導入・活用推進プロジェクト</p> <p>○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷L I F E」プロジェクト</p>	<p>○ 物流ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定及び定時性が確保された輸送により、高鮮度の食材提供を図るため、高規格道路等のアクセスの強化、物流拠点である港湾、空港の機能強化と、これらを結ぶ広域的な物流ネットワークの整備を推進します。 	<p>国、市町村、民間</p>	<p>○港湾</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産物流の効率化のための小型船だまり整備の推進（増毛港（R3完了）、羽幌港） 農水産物輸出促進のための屋根付き岸壁の整備（増毛港（R3完了）、枝幸港） 港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、天塩港） 第一副港地区岸壁老朽化対策事業及び北防波堤ドーム予防保全事業の推進（稚内港） 物揚場整備事業の推進（宗谷港） 防波堤及び物揚場老朽化対策事業の推進（枝幸港） 物揚場老朽化対策事業の推進（鴛泊港） 防波堤整備事業の推進（香深港） <p>○漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> 新北防波堤（補修）（R4完了予定）（遠別漁港） 船揚場（改良）（R3完了予定）（苫前漁港） 岸壁（衛生管理型）の整備推進（東浦漁港） 防波堤の整備推進（R4完了予定）（抜海漁港） 防波堤、岸壁の整備推進（礼文西漁港） 防波堤、護岸の長寿命化対策のための補修工事の推進（仙法志漁港） 漁港内での稚ナマコ中間育成の実用化に向けた調査の実施（苫前漁港） <p>○道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定） 国道232号小平防災の推進 国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定） 国道239号霧立防災の推進（R4部分開通予定） 国道238号浜猿防災の推進（R4、R6部分開通予定） 国道238号幌別橋架替の推進 <p>（民間）</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛乳工場生産能力向上の推進（豊富町）
--	---	--	-----------------	--

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト【再掲】</p> <p>（ 天塩川や大雪山、日本海オロロンライン、利尻礼文サロベツ国立公園をはじめとした特色ある自然、高品質ブランド米や多種多様な野菜、果樹、豊富な海産物や乳製品などの食、歴史や写真、絵本などの芸術文化等を活かした地域の魅力発信、広域周遊や体験・滞在型観光等を推進するほか、スポーツ・音楽の合宿の誘致などを通じて、道北地域への来訪促進を図ります。</p> <p>■推進エリア 道北連携地域</p>	<p>○ 特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある自然や地域特有の歴史・風土、芸術文化に関する国内外への情報発信 ・自然や芸術文化等をテーマとしたイベントの実施や国内外との交流の推進 ・自然環境・歴史文化の保全や芸術文化の振興 <p>○ 空港運営の一括民間委託を契機とした航空ネットワークの充実・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離島路線を含む航空路線維持・拡大に向けた取組の推進 ・空港の機能向上に向けた取組の推進 ・空港の利用促進に向けた取組の推進 ・戦略的な空港間連携に向けた取組の推進 <p>○ 「食」や「食文化」をテーマとしたフードツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食」の魅力を活かす生産者、観光事業者、ホテル・飲食店等の連携促進 ・道北地域の「食」の魅力を集積したイベントの活用による観光振興 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高規格道路の整備 ・高規格道路の整備促進 ○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・観光拠点へのアクセス道路の整備 ・航空機の安定運航確保など、空港機能維持のための施設整備 ○都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備 ・都市の円滑な交通を確保するためのバイパス、環状・放射道路の整備 ・渋滞解消や市街地の一体化のための立体交差などの整備

		<p>○ 広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験観光メニューの開発や受入体制の整備等による観光地づくり ・地域間の連携による広域周遊観光の推進 ・3振興局の共同プロモーション及び情報発信による誘客促進 		
		<p>○ 離島観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離島の魅力を活かした観光の推進 		
		<p>○ 地域の気候風土や街並みなどを活かしたスポーツや音楽合宿の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ及び音楽の合宿誘致 ・スポーツや文化プログラムの振興 ・情報の発信・共有化 ・受入体制の整備推進 		

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト【再掲】</p> <p>南北178kmの海岸線を有し、総面積の83パーセントを森林が占める留萌地域は、全道有数の品質を誇る米をはじめ、クリーンな野菜や果物、高品質な畜産物、甘エビ、タコ、カレイ、ヒラメ、シジミなどの多種多様な水産物など「食」の資源に恵まれています。</p> <p>留萌地域では、そうしたバラエティ豊かな食材を安定的に供給できるよう、農業の生産性向上に向けた生産基盤の強化や、水産業の経営安定に向けた資源・漁場づくりを進めるなど、持続可能な農林水産業を推進していくほか、企業や大学などと連携を図りながら、食材の魅力を十分に活かしたブランド力の強化などによる付加価値の高い商品開発や戦略的なマーケティングを通じた国内外へのさらなる販路拡大を進めていきます。</p> <p>また、豊かな農林水産物を育む環境を維持するため、エゾシカ等による農林産物被害や海獣による水産被害を軽減する対策のほか、環境保全活動の推進や海鳥の保護、適切な森林の管理や地域材の利用推進など、自然環境の保全・再生、資源の有効利用の取組を促進していきます。</p> <p>■推進エリア 留萌地域</p>	<p>○ 持続可能な農業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性・収益性の高い農業の推進 環境と調和した農業の展開 エゾシカ等の有害鳥獣による農業被害対策の推進 <p>○ 日本海の豊かな恵みを活かす水産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産資源の適切な管理及び秩序ある利用 海域の特性に応じた栽培漁業の推進 水産資源の生育環境の保全及び創造 トド等の海獣による漁業被害対策の強化 <p>○ 地産地消や地域ブランドの創出に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者と消費者の結びつき強化 地産地消を通じた農水産物の高付加価値化 地域ブランドの創造などによる積極的な販路拡大の促進 「食」の魅力向上や情報発信力の強化 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ・交通拠点と主要地、主要施設を結ぶ道路の整備促進 ・高規格道路と一体となった道路整備促進 ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ・農業生産基盤の整備促進 ○農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 ・農地や農業用施設の整備促進 ・海岸を侵食から守る施設の整備の促進 ・河川などの治水施設の整備促進 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ・漁港の整備促進 ・漁場の整備促進 ○国際的な海上輸送拠点の整備 ・港湾の整備促進 ○国内海上交通ネットワークの整備 ・港湾の整備促進 ○適切な森林の整備と保全の促進 ○治山施設の整備 ・保安林の整備促進 ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 ・自然に配慮した河川・砂防施設などの整備促進 ・海岸保全施設の整備促進

		<p>○ 自然環境の持続的利用と保全、再生の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暑寒別天売焼尻国定公園の保護と適正な利用 ・ 環境保全活動の推進 ・ 海鳥の保護活動 ・ 環境教育の推進 		
		<p>○ 森林資源の循環利用・木育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な管理に基づく森林整備の推進 ・ 地域材の利用推進 ・ 「木育」の推進 		

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト【再掲】</p> <p>留萌地域においては、全道を上回る急速な人口減少や少子高齢化の進行などにより、基幹産業である農林水産業や商工業の担い手だけではなく、地域コミュニティにおけるリーダーなど様々な分野での人手不足が表面化してきており、地域における活力の低下が大きな課題となっています。</p> <p>一方、深川留萌自動車道の全線開通により都市部からのアクセスが向上したほか、新型コロナウイルス感染症の拡大を通じて、特に首都圏では、テレワークの活用など場所にとらわれない働き方や若年層を中心に地方移住への関心が高まっています。</p> <p>こうした変化を的確に捉え、移住者や関係人口などの人材を積極的に呼び込むほか、地域の特性に応じた労働力確保に向けた仕組みづくりや近年増加する外国人材の受入環境の整備など、地域を支える多様な人材を育成・確保しながら、人口減少下においても、将来にわたり安心して暮らし続けることのできる地域づくりを進めていきます。</p> <p>■推進エリア 留萌地域</p>	<p>○ 地域の産業を支える働き手の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業における多様な担い手育成・確保 ・高校や大学などの教育機関と連携した取組の推進 ・官民が一体となった働き手確保に向けた取組の推進 <p>○ 女性や外国人材、移住者など多様な人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力発信や移住・定住の取組促進 ・多様な人材受入のための集落対策の推進 ・外国人材受入環境の整備 ・「留萌振興局管内女性活躍支援ネットワーク」による関係機関の連携支援 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <p>○物流ネットワーク形成のための道路網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通拠点と主要地、主要施設を結ぶ道路の整備促進 ・高規格道路と一体となった道路整備促進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト【再掲】</p> <p>宗谷地域の基幹産業である酪農業や漁業では、人口減少や高齢化の進行などにより担い手が不足するとともに、生産性向上に向けた取組や経営継続に必要な投資が十分に進んでいないこと、また、水産資源の減少などが課題となっています。</p> <p>さらに、TPP11協定など国際貿易協定の相次ぐ締結、発効に伴い、関税の段階的な引き下げによる1次産品の価格低下などが懸念されている中、地域の持続的な発展に向けて、宗谷の特色を活かした農林水産業の振興に取り組む必要があります。</p> <p>こうしたことから、酪農業については、生乳生産の維持・拡大のため、生産基盤の整備や草地の植生・飼養環境の改善、営農支援組織の充実による生産性の高い酪農経営の確立を図ります。</p> <p>漁業については、海域の特性に応じた栽培漁業を推進することにより、生産の維持安定を図ります。</p> <p>また、林業については、トドマツ等の人工林が利用期を迎えており、これらの森林資源の循環利用に向け、森林施業の低コスト化や木材利用の推進等を図ります。</p> <p>さらに、食のブランド化の推進に当たっては、地域食材の特性を活かした商品の開発や販路の拡大を図る取組を支援するほか、食関連産業に携わる人材の育成に取り組むなど、基幹産業である1次産業の基盤強化を目指します。</p> <p>■推進エリア 宗谷地域</p>	<p>○ 宗谷産農水産物の付加価値向上やブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における食関連産業の強化を目的とした地域食マーケティング人材の育成 ・農水産物の高付加価値化を目的とした商品の開発や改良の促進 ・販路の開拓・拡大に向けたプロモーションの展開 <p>○ 広大な草地資源を活かした宗谷酪農の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草地整備や牛舎等の施設整備・機械導入の推進 ・草地の植生や飼養環境の改善等の推進 ・営農支援組織の充実による、飼料生産等の外部化や効率化の推進 <p>○ 日本海やオホーツク海の海域の特性に応じた栽培漁業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタテ・ニシンなど海域の特性に応じた種苗放流の実施 ・漁場機能回復の取組によるコンブの生産増大の推進 ・秋サケの資源安定化のための、稚魚の生産・放流体制の見直し 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高規格道路の整備 ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ○農産物流通の合理化などのための農道の整備 ○農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ○生活環境の向上など快適で住みよい農山漁村づくり ○健全な森林の整備と保全の推進

○ 地域の特性に応じた森林資源の循環利用の推進

- ・森林施業の低コスト化に向けた基盤整備等
- ・間伐及び伐採後の再造林の着実な推進
- ・地域で産出される木材の利用拡大

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>安全・安心な地域づくりプロジェクト【再掲】</p> <p>（ 少子高齢化が進むなか、広大で離島も有する道北地域において、心身ともにすこやかで活力ある生活を送るためには、病気の予防・生活習慣の改善など自らの健康の保持・増進が重要であるとともに、地方・地域センター病院を中心に地域における医療機関が機能分担と連携を図り、地域に必要な医療体制を確保し、救急医療体制を充実することが求められています。</p> <p>また、安心して子どもを産み育て、高齢者を含めた誰もが住み慣れた街で元気に暮らすことが必要とされています。</p> <p>こうしたことから、地域住民が健康で安心して暮らせるよう、地域の連携による医療体制の確保や地域包括ケアシステムの推進を図るとともに、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりのための子育て支援施策の充実に努めます。</p> <p>また、近年の激甚化する自然災害等に対する防災対策として、市町村への情報提供や研修会の開催による自主防災組織の充実、防災関係機関の連携強化による地域防災力の向上など、地域住民が安心して暮らせるよう、防災・減災の取組を進めていきます。</p> <p>■推進エリア 道北連携地域</p>	<p>○ 全ての世代が安心して暮らせる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療連携や救急医療体制の充実 ・医療と介護の連携の推進 ・地域医療従事者等の養成・確保 ・子どもを生み育てることができる環境づくりの推進 ・高齢者が住み慣れた街で元気に暮らせる社会の形成 <p>○ 災害（地震、津波、大雨、火山等）に対する防災体制の強化等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織カバー率向上への取組 ・防災関係機関との連携強化 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高規格道路の整備 ・高規格道路の整備促進 ○安全で安心な道路交通環境の整備 ・幹線道路や通学路等における交通安全対策の推進 ・地域医療を支える交通ネットワークの整備 ○冬期における安全で快適な道路交通の確保 ・冬期を踏まえた歩行空間の確保のための広幅員歩道の整備推進 ・地吹雪・雪崩対策など冬に強い道路の整備 ○災害に備えた安全な道路交通環境の整備 ・避難路や緊急輸送道路、危険箇所の防災対策などの整備 ○洪水や土砂災害、火山噴火や大規模地震、津波などに備えた安全性の高い災害防止施設の整備 ・火山砂防施設や、土砂災害対策施設の整備 ・総合的な治水・利水対策の推進 ・火山噴火緊急減災対策砂防の推進 ・海岸の高潮・浸食・津波対策施設などの整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>新エネルギー導入・活用推進プロジェクト【再掲】</p> <p>道北地域には、風力、太陽光やバイオマス、中小水力、地熱のほか、積雪寒冷な気候を活かした雪氷冷熱など、多様な新エネルギー資源が豊富に存在しています。留萌、宗谷地域では、恵まれた風況を活かした風力発電の開発が進められており、両地域で全道の風力発電設備容量の35%以上を占めています。また、稚内市のメガソーラー発電施設の公共的な活用の取組や、上川町の地熱発電計画、上川管内各地の木質バイオマスエネルギーを活用した取組など、脱炭素型の地域づくりを見据え、各地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消の取組が進められています。</p> <p>しかし、新エネルギーの導入、活用を加速化させるには、採算性や法規制のほか、地域社会の理解や協力、送電網の容量など、解決しなければならない課題も多くあります。</p> <p>こうしたことから、連携地域を構成する上川、留萌、宗谷の各地域における新エネルギーの導入ノウハウや効果などについて情報共有を図るとともに、各地域の自然や産業に根ざした新エネルギーなどについて、導入に向けた活動の促進や活用の推進を図ります。</p> <p>■推進エリア 道北連携地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域が連携した新エネルギー導入促進の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・政策課題の発掘・整理や情報の共有 ・新エネルギーの周知・PR ○ 自然に根ざしたエネルギーの地産地消に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・風力発電・太陽光発電など新エネルギーの取組の促進 ○ 木質バイオマスの安定供給やエネルギー利用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域関係者が連携した木質バイオマス安定供給体制の構築 ・木質バイオマスの発生情報の発信 ・木質バイオマスのエネルギー利用に対する支援 ○ 地熱発電の導入に向けた取組支援 <ul style="list-style-type: none"> ・法規制等の課題解決に向けた関係機関への働きかけ ・地域の合意形成の推進 ○ 農村地域における新エネルギーの導入・利用拡大の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・農村地域におけるバイオマス利用拡大 ○ 中小水力発電施設の導入支援 <ul style="list-style-type: none"> ・中小水力発電施設の導入に係る各種事業制度の活用支援 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新エネルギーの開発・活用促進と送電網の整備促進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト【再掲】</p> <p>（宗谷地域は、若年層の管外流出など、管内人口の減少が依然続いており、地域経済の縮小や、人手不足・後継者難による地域産業を担う人材確保など、将来に渡る課題に結びついています。地域が継続的に発展するためには、住民が輝いて暮らすことが重要です。こうしたことから、地域の魅力を伝えながら、様々な世代がふるさとに愛着を持ち、住み続けられる環境を整えるとともに、多様な主体がつながり合う活力あふれる宗谷地域を目指します。）</p> <p>■推進エリア 宗谷地域</p>	<p>○ 多様な人材がつながり支え合う環境づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生等の地元定着や都市部若者のU・Iターンの促進 ・首都圏等における関連イベントでの地域の魅力発信 ・地域の定住対策や「ちょっと暮らし」、「おためし暮らし」の利用拡大など移住関連施策の充実 ・地域内外の新しい視点を活かしたネットワーク構築の推進 ・多様な担い手・人材の育成・確保と地域コミュニティ機能の強化 ・離島新規漁業就業者の確保対策の推進 ・就業環境の改善や多様な研修の実施などによる森林づくり ・地域住民と外国人が互いの理解を深め、共に安全に安心して暮らせる環境づくり 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安心で快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ○高規格道路の整備 ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ○農産物流通の合理化などのための農道の整備 ○農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ○生活環境の向上など快適で住みよい農村漁村づくり ○健全な森林の整備と保全の推進

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

地域重点プロジェクト

[社会基盤関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

■連携地域の主な施策の方向

○地域の生活と産業を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実、高度情報通信網の整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	広域交通ネットワーク形成プロジェクト 広域分散型社会を形成する道北地域は、南北に広がっており、高規格道路等のミッシングリンクを解消するなど高次医療を始めとする高次都市機能が集中する旭川と他の地域とのアクセス機能を強化します。 また、地域の多様な主体が、隣接する道央地域を始めとする内外の諸地域と交流し、多様な連携・協働を推進するために必要な交通ネットワークの整備を図ります。ポストコロナを見据え、地域産業の更なる育成や工場建設・企業立地の促進など地域のポテンシャルを十分発揮させるため、基盤整備を含めた物流機能の強化を推進します。 ■推進エリア 道北連携地域	○ 交通ネットワークの強化 ・旭川と他の地域とのアクセス強化を図るため、高規格道路を始めとする基幹的なネットワークの整備を推進します。 ・道央地域と連絡する高速交通ネットワークの整備を推進します。 ・多様な連携を推進するため、交流拠点である港湾や空港の整備を推進します。	国、道、市町村 国、道、市町村 国、市町村	(国 R2までに完了) ○道路 ・国道232号耐震補強(築別橋開通)(H28完了) ・旭川十勝道路(富良野道路)の開通(H30完了) ・深川・留萌自動車道の開通(R2完了)
		○ 物流ネットワークの強化 ・地域の産業や生活を支えるため、港湾の物流機能の強化、効率化を推進します。 ・港湾、空港や物流拠点・生産拠点と高規格道路とのアクセスを強化します。 ・物流システム構築に向けた取組を推進します(名寄周辺モデル地域)。	国、市町村 国、道、市町村 国、道、市町村	○港湾 ・防波堤(H30完了)(宗谷港) ・防波堤整備事業(H30完了)(枝幸港)
		○ 広域分散型社会に対応した地域交通の形成 ・渋滞解消に向けた道路整備など、都心部へのアクセスの改善を推進します。 ・救急医療機関へのアクセス時間を短縮する道路整備を推進します。	国、道、市町村	(国 R3施行) ○道路 ・北海道縦貫自動車道(士別剣淵～名寄)の推進 ・旭川十勝道路(富良野北道路)の推進 ・国道40号音威子府バイパスの推進(R7全線開通予定) ・国道452号五稜道路の推進

	<p>■関連する振興局主体プロジェクト</p> <p>○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト</p> <p>○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・国道40号天塩防災の推進（R5部分開通予定） ・国道232号小平防災の推進 ・国道232号高砂橋架替の推進（R5全線開通予定） ・国道239号霧立防災の推進（R4部分開通予定） ・国道238号浜猿防災の推進（R4、R6部分開通予定） ・国道40号稚内中央電線共同溝の推進 ・国道238号幌別橋架替の推進 ・「道の駅」を活用した物流効率化の取組の推進 <p>○港湾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、天塩港） ・小型船だまり整備の推進（増毛港（R3完了）、羽幌港） ・岸壁老朽化対策事業の推進（稚内港） ・物揚場整備事業の推進（宗谷港） ・防波堤老朽化対策事業の推進（鷺泊港） ・岸壁老朽化対策事業の推進（杓形港） ・防波堤整備事業の推進（香深港） ・防波堤及び物揚場老朽化対策事業の推進（枝幸港） <p>○空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港施設の改良・更新の完了（R4完了予定）（稚内空港） <p>（市町村）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭川市公共交通ランドデザイン
--	--	--	--

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト【再掲】</p> <p>南北178kmの海岸線を有し、総面積の83パーセントを森林が占める留萌地域は、全道有数の品質を誇る米をはじめ、クリーンな野菜や果物、高品質な畜産物、甘エビ、タコ、カレイ、ヒラメ、シジミなどの多種多様な水産物など「食」の資源に恵まれています。</p> <p>留萌地域では、そうしたバラエティ豊かな食材を安定的に供給できるよう、農業の生産性向上に向けた生産基盤の強化や、水産業の経営安定に向けた資源・漁場づくりを進めるなど、持続可能な農林水産業を推進していくほか、企業や大学などと連携を図りながら、食材の魅力を十分に活かしたブランド力の強化などによる付加価値の高い商品開発や戦略的なマーケティングを通じた国内外へのさらなる販路拡大を進めています。</p> <p>また、豊かな農林水産物を育む環境を維持するため、エゾシカ等による農林産物被害や海獣による水産被害を軽減する対策のほか、環境保全活動の推進や海鳥の保護、適切な森林の管理や地域材の利用推進など、自然環境の保全・再生、資源の有効利用の取組を促進していきます。</p> <p>■推進エリア 留萌地域</p>	<p>○ 持続可能な農業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性・収益性の高い農業の推進 ・環境と調和した農業の展開 ・エゾシカ等の有害鳥獣による農業被害対策の推進 <p>○ 日本海の豊かな恵みを活かす水産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産資源の適切な管理及び秩序ある利用 ・海域の特性に応じた栽培漁業の推進 ・水産資源の生育環境の保全及び創造 ・トド等の海獣による漁業被害対策の強化 <p>○ 地産地消や地域ブランドの創出に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者と消費者の結びつき強化 ・地産地消を通じた農水産物の高付加価値化 ・地域ブランドの創造などによる積極的な販路拡大の促進 ・「食」の魅力向上や情報発信力の強化 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <p>○ 物流ネットワーク形成のための道路網の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通拠点と主要地、主要施設を結ぶ道路の整備促進 ・高規格道路と一体となった道路整備促進 <p>○ 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産基盤の整備促進 <p>○ 農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地や農業用施設の整備促進 ・海岸を侵食から守る施設の整備の促進 ・河川などの治水施設の整備促進 <p>○ 水産物供給基地としての漁港・漁場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港の整備促進 ・漁場の整備促進 <p>○ 国際的な海上輸送拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾の整備促進 <p>○ 国内海上交通ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾の整備促進 <p>○ 適切な森林の整備と保全の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 治山施設の整備 ・保安林の整備促進

		<p>○ 自然環境の持続的利用と保全、再生の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暑寒別天売焼尻国定公園の保護と適正な利用 ・ 環境保全活動の推進 ・ 海鳥の保護活動 ・ 環境教育の推進 		<p>○ 自然豊かな水辺環境の整備・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然に配慮した河川・砂防施設などの整備促進 ・ 海岸保全施設の整備促進
		<p>○ 森林資源の循環利用・木育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な管理に基づく森林整備の推進 ・ 地域材の利用推進 ・ 「木育」の推進 		

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	<p>地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト【再掲】</p> <p>（宗谷地域は、若年層の管外流出など、管内人口の減少が依然続いており、地域経済の縮小や、人手不足・後継者難による地域産業を担う人材確保など、将来に渡る課題に結びついています。</p> <p>地域が継続的に発展するためには、住民が輝いて暮らすことが重要です。こうしたことから、地域の魅力を伝えながら、様々な世代がふるさとに愛着を持ち、住み続けられる環境を整えるとともに、多様な主体がつながり合う活力あふれる宗谷地域を目指します。</p> <p>■推進エリア 宗谷地域</p>	<p>○ 多様な人材がつながり支え合う環境づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生等の地元定着や都市部若者のU・Iターンの促進 ・首都圏等における関連イベントでの地域の魅力発信 ・地域の定住対策や「ちょっと暮らし」、「おためし暮らし」の利用拡大など移住関連施策の充実 ・地域内外の新しい視点を活かしたネットワーク構築の推進 ・多様な担い手・人材の育成・確保と地域コミュニティ機能の強化 ・離島新規漁業就業者の確保対策の推進 ・就業環境の改善や多様な研修の実施などによる森林づくり ・地域住民と外国人が互いの理解を深め、共に安全に安心して暮らせる環境づくり 	国、道、市町村、民間	<p>【関連する主な基盤整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ○高規格道路の整備 ○物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ○農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ○農産物流通の合理化などのための農道の整備 ○農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ○生活環境の向上など快適で住みよい農村漁村づくり ○健全な森林の整備と保全の推進